



再生材料を使用・51%
スラグ

プレミックスK3

床タイル張付用ポリマーセメントモルタル
床タイルクリップ工法対応
エコマーク認定製品

荷 姿



25kg紙袋

塗 厚
(くし目高さ)

5~30mm

練り上がり量

約17ℓ

- ・コンクリートへ直張り可能なポリマーセメントモルタルです。
- ・最大30mm目のくし目塗りが可能で、ある程度の下地の不陸は下地調整を行わずに直張りが可能です。大型床タイルの施工に適しています。
- ・大型床タイルのクリップ施工も可能です。

セラミックタイルや石材を施工する際に、クリップとクサビを使用して、タイル間の段差や目違いを防止する施工法にもご使用いただけます。

製品仕様

適用箇所(適用下地)	内装床、外装床(コンクリート、モルタル、PCパネル)
適用タイル	600mm角程度までの床用タイル(セラミックタイル、石材)
練水量	約5ℓ
タイル張り方法	圧着張り 改良圧着張り

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

項目	単位	試験結果	試験方法	
保水率	%	88.2	JIS A 6916_附属書 タイル張付け用モルタルの試験方法	
単位容積質量	kg/ℓ	1.72		
付着強さ	標準時	N/mm ²		1.2
	温冷繰り返し 10サイクル後	N/mm ²		1.7
長さ変化率	%	0.10	JIS R 5201	
曲げ強さ	N/mm ²	8.8		
圧縮強さ	N/mm ²	32.7		
硬化密度	g/cm ³	1.65		—

二瀬窯業(株)試験室

留意点

- ・実際に使用するタイルを用いて事前に施工テストを行い、タイル裏面全体に密着できるかを確認してください。タイルサイズや下地の不陸を考慮して、タイル裏面全体に密着できる形状・山高さのクシ目ゴテと、タイル張り方法を選定してください。
- ・温度変化や吸湿乾燥の著しく生じる箇所、裏足の無いタイルや石材の場合、タイルや下地の伸縮によって生じる接着層間のひずみによって、接着耐力が損なわれる恐れがあります。このような箇所や、裏足の無いタイルや石材の施工では、改良圧着張りを推奨します。また、しっかりと叩き込みが行えないなど、タイル裏面との十分な圧着が担保できない条件の場合も、改良圧着張りを推奨します。
- ・突付け目地にならないように、目地幅は最低2mm以上を確保してタイルを割り付けてください。
- ・目地深さの違いによって、目地材施工後に色ムラやドライアウトなどの不具合が生じる恐れがあります。目地深さは4mm以上確保し、極端な不陸ができないよう、モルタルが硬化する前にできるだけ一定に均しておいてください。
- ・接着面の吸水性が高いタイルまたは石材は接着面に吸水調整を施してください。
- ・伸縮調整目地を3m程度のピッチで配置し、囲まれる範囲を10㎡以内としてください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2002029
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

関連資料

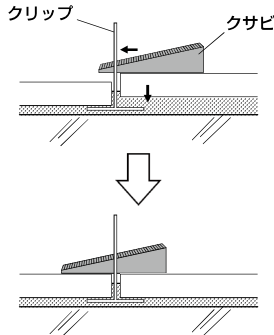


(一社) 公共建築協会
 建築材料等評価名簿掲載材料
 吸水調整材 (モルタル用)
ユニレックス3
 [18kg/缶]
 塗布型吸水調整材
 (EVA系合成樹脂エマルジョン)

【クリップ施工の場合の例】

クリップ資材メーカーの施工方法に従ってください。

- 標準的なクリップ底面の厚さは3mmです。
- この場合、タイルを締め付けた後のモルタル厚さは最低5mm必要ですので、これを考慮した塗り厚にしてください。
- タイルを張り付けてから直ちにクリップを取り付けてください。
- クリップを挟んでタイルが隣り合った箇所から、クリップにクサビを差し込み締め付けてタイル間の仕上がり面を水平にしてください。押さえ込んだタイルを引き起こすことがないようにご注意ください。



クリップの除去は、モルタルが硬化していることを確認してから行ってください。

※弊社ではクリップとクサビは販売しておりません。

床タイル張り施工方法

1. 下地の確認

下地は十分な養生期間を経過していることを確認してください。

【下地の養生期間】

下地	下地調整モルタル	コンクリート
養生期間	施工した材料の仕様に従う。	材齢4週間以上

2. 下地およびタイル裏面の清掃

- 下地表面が平滑すぎる場合は、接着性向上のためカップホイールなどで目荒らしを行い、表面の脆弱層もすべて除去してください。
- 下地表面に粉塵などの残留物がないように、真空掃除機でしっかり回収してください。
- 床タイル裏面には白い粉が付着している場合があります。ウエスなどで拭って除去できる分だけ全て除去してください。粉状で残留しているまま張付けると、接着を阻害します。

3. 下地への吸水調整

- 吸水調整材として、「ユニレックス3」の原液を上水道水で5倍に希釈して施工面に塗布してください。
- 使用するタイルの接着面の吸水性が高い場合は、タイルの接着面にも同様に吸水調整を施してください。

【5倍希釈の割合】

材料	ユニレックス3	水道水
割合	1	4

- 塗布量の目安 150g/m²
- 刷毛やローラーを用いて、まんべんなく塗布してください。
- 吸水調整材が完全に乾燥した後、タイル張りを行なってください。(乾燥時間の目安：夏期1時間程度・冬期3～4時間程度)
- 概ね乾燥して、液溜りができて乾燥しにくい部分がある場合は、刷毛で延ばして乾燥させてください。
- 吸水調整後は粉塵等が付着しやすくなるため、おそくとも翌日中までにタイルを張り終えてください。
- 吸水調整後、タイル張りが完了するまでは、周辺の粉塵の発生する作業は控えてください。

4. 水系の引き直し

- 割り付け図に基づき、水系を引き直してください。

5. プレミックスK3の練り混ぜ

【プレミックスK3の割合】

粉体	水道水
25kg	約5ℓ

- 所定量の上水道水を練り混ぜ容器に入れ、製品粉体を徐々に加えながらモルタル用かはん機でダマが残らないよう十分にかくはんしてください。(練混ぜ時間の目安は、粉体を全部投入してから2～3分です。)
- 練り混ぜ後は、夏期40分以内、冬期60分以内に使用してください。
- 練り足しや水を加えての練り直しは避けてください。

6. プレミックスK3の塗り付け

- 塗り付ける範囲は、10分以内にタイルを張り付けることができる程度にしてください。(2㎡程度/人)
- 一度下地に塗り込むように擦り付けながら1～2mm厚で塗り付け、続けて重ね塗りした後に、所定の厚さになるようクシ目を立ててください。
- ※タイルサイズと下地の不陸を考慮し、張り付けた後に空隙の残らない塗り厚となる、形状および山高さのクシ目ゴテを選定してください。
- ※クシ目を立てた時の高さのラインが一定なるようにご注意ください。広いくぼみができてしまうとタイルと密着できずエアポケットができてしまい、のちにタイルの割れや剥離の原因となります。

7. タイルの張付け

- 塗り置き時間
 - タイルの張付けは、塗り置き時間10分以内に行ってください。塗り置き時間はあくまでも目安です。環境条件によって表面の乾燥時間が早まる場合があります。適宜に張付けたタイルを剥がし取り、裏面の接着状態を確認し、接着状態を見て、塗り置き時間の調整を行ってください。
- 張付け
 - タイルを張り付け、水平器等を使って隣り合うタイルとの段差を確認しながら、ゴムハンマーなどで十分に叩き押えて、所定の仕上がり面になるように調整してください。
 - ※改良石膏張りを行う場合は、タイルを張り付ける直前にタイルの裏面に練り混ぜた材料をしっかりと擦り塗りして1～2mm厚程度で塗り付け、直ちに張り付けてください。(複数の作り置きはしないでください。)
 - 目地幅は最低2mm以上を確保してください。
- 目地処理
 - モルタルが硬化する前に目地部分のモルタルを掻き取って、目地深さを4mm以上確保し、できるだけ深さを一定にしてください。目地深さが浅すぎたり、ある程度均一でない、目地材を施工した後に色ムラやドライアウトなどの不具合の生じる恐れがあります。
- 清掃
 - 施工直後はタイルに乗れませんので、施工した列ごとに清掃してください。仕上げ面に付着したモルタルは硬化する前に除去し、水で濡らしたウエスと乾いたウエスを併用してきれいにつき取ってください。

8. 養生

- 施工後24時間は、雨・雪・直射日光・強風・放射冷却にさらされないようシート等により保護してください。
- 2日間以上で軽歩行可能です。最低14日間は道板などを敷いて加重を分散させてください。

9. 目地詰め

- 目地詰めは、張付材の施工後2日間経過してから行ってください。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

- 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に乗せて床から離してください。
- 製品は製造年月日を確認して、4ヶ月以内にご使用ください。
- 回った製品の使用は避けてください。
- 気温が3℃以下および3℃以下になると予想される場合は、施工は行なわないでください。
- 製品には弊社の指定する材料以外の混入は避けてください。
- 製品のお取扱に際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用の上、適切な安全対策を実施してください。



ISO 14001取得企業

製品資料・SDS等は別途ご請求ください

20211210.02

プレミックスモルタルの総合開発メーカー
二瀬窯業株式会社
<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本社・工場 福岡県飯塚市横田669
 〒820-0044 tel:(0948)22-0447 fax:(0948)29-0289

関東工場 千葉県木更津市新港15-8
 〒292-0836 tel:(0438)30-7372 fax:(0438)30-7472

本社営業グループ (建築・土木・仕上材) 福岡県飯塚市横田669
 〒820-0044 tel:(0948)22-0447 fax:(0948)29-0289

名古屋営業所 愛知県須崎市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル1F
 〒452-0006 tel:(052)509-2485 fax:(052)509-2486

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル2F
 〒105-0014 tel:(03)6453-6685 fax:(03)6453-6686

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル2F
 〒552-0002 tel:(06)6583-3310 fax:(06)6583-3325